

東山旧岸邸屋根修繕事業

「東山旧岸邸」は、昭和を代表する政治家であり、首相を務めた岸信介氏の自宅として、昭和44年に建設された邸宅で、晩年を過ごされた後、平成15年に御殿場市に寄贈されました。

御殿場市の中でも別荘文化が残る東山地区の豊かな自然の中に佇む本邸宅は、建築家の吉田五十八氏の晩年の作品であり、伝統的な数寄屋建築で造られ、敷地内の庭園と合わせて市内外の方が多く訪れる**国の登録有形文化財**です。

一般公開にあたり、平成16年度に屋根の葺き替え工事、平成20年度に耐震補強・内部改装を実施し、平成26年度には内部の大規模修繕を実施しています。現在、屋根の葺き替え工事から18年が経過し、御殿場市の寒冷な気象条件や経年劣化から屋根材のひび割れが発生している状況にあります。

国の登録有形文化財として東山旧岸邸を**後世へ残し**、また市民の文化・教養のより一層の向上に資するため、本施設の整備にご協力をお願いいたします。

■ イメージ



■ イメージ



御殿場市ホームページ

